

やまぐち 会報

山口市一の坂川



中国ブロック新人研修会



平成22年度第2回本部研修会



山口県土地家屋調査士会

No.107.2011.5

CONTENTS



No.107-2011

5

支部研修会	岩国支部企画委員	中島	由雄	1
	周南支部企画委員	大下	竜司	2
	山口支部企画委員	原田	英樹	3
	山口支部企画委員	石川	慎	4
	宇部支部企画委員	大窪	圭子	5
	下関支部企画委員	山崎	義文	6

表示登記の日「無料相談会」報告				
各支部無料相談開催場所、相談件数				7
岩国支部(岩国市)副支部長	井上	哲也		8
岩国支部(柳井市)支部長	藤本	幸彦		8
周南支部企画委員	大下	竜司		9
防府支部支部長	阿部	次男		9
山口支部支部長	藤原	淑雄		10
萩支部(萩市)(長門市)理事	片山	修一郎		10
宇部支部理事	松村	幸雄		11
下関支部理事	米原	太一		11

中国ブロック新人研修会				
平成22年度中国ブロック新人研修会報告				
広報部長	高松	孝一		12
中国ブロック新人研修会に参加して				
萩支部	横山	好信		13
萩支部	古江	直樹		13
宇部支部	河合	佑一		14
下関支部	山田	篤志		14
下関支部	半野	義隆		15

山口県青年土地家屋調査士会の活動				
「青調会 震災支援活動」の報告				
青調会副会長	大來	博康		16
「山口青調会主催ボウリング大会及び忘年会」の報告				
青調会副会長	八田	廣		18
「岡山青調会との交流会」の報告				
青調会会計幹事	宮崎	敏幸		19

事務局だより				20
会員異動状況				
会務報告				
東日本大震災に係る義援金の募集について				
事務局備え付け図書のご案内				

支部研修会

第1回岩国支部研修会報告

岩国支部企画委員 中島由雄

平成23年5月12日（木）午後3時より岩国市社会福祉会館において第1回岩国支部研修会を行いました。

研修内容は、山口地方法務局からの協議・要望事項に基づき不動産登記規則第93条調査報告書の記載内容、地積測量図に記載すべき事項等で、特に重点的に議論したのは、官庁発注の業務における「登記嘱託承諾書」「寄付申込書」等の実印押印取業務を調査士が行うことの是非についてと、地図訂正、地積更正をするための条文の解釈の仕方について

でした。

前件の印取業務は岩国地区では官庁から依頼があれば調査士が所有者に直接頂きに行くのが普通ですが、柳井地区ではそのような依頼をされることが無いと言われる方もおり驚きでした。

後件では、条文の解釈の仕方では登記官の職権で地図訂正されると主張される方と、そうではないと主張される方がおり長時間議論され実務に関する充実した内容の研修会となりました。



第2回周南支部研修会の報告

周南支部企画委員 大下竜司

平成23年2月7日（月）午後4：00から午後5：00まで山口地方法務局周南支局3階会議室において、講師に吉野登記官をむかえ、新オンライン申請切り替えについて（具体的な切替方）をテーマに出席者29名で支部研修会を開催しました。

2月14日から「新オンラインシステム」（登記・供託オンライン申請システム）に切り替わる1週間前の開催のため具体的な切り替え方や、注意事項を中心に話がありました。

私自身は、新オンラインシステムの切換えはしていましたが、切換え作業は難しいものではありませんでした。しかし、実際に申請できるか心配です。

「新オンラインシステム」（登記・供託オンライン申請システム）で実際に申請することになる14日以降に具体的な疑問点が出てくると思います。

講師をしていただいた吉野登記官ありがとうございました。



平成22年度第2回 山口支部研修会の報告

山口支部 原田英樹

平成23年2月4日（金）午後3時から、山口県土地家屋調査士会館3階会議室において、山口支部研修会を開催し、22名（調査士18名、補助者4名）が出席しました。

『「登記・供託オンライン申請システム」の運用開始について』をテーマにダウンロード方法、新システムの概要、旧システムとの主な違い等、体験版を使用しながら分かりやすく渡邊英雅会員に講義していただきました。



多くの質問・意見が出ていました。また会員同士での意見交換もでき、参加者にとって、有意義な研修になったと思われます。

以上、簡単ではありますが報告を終わります。

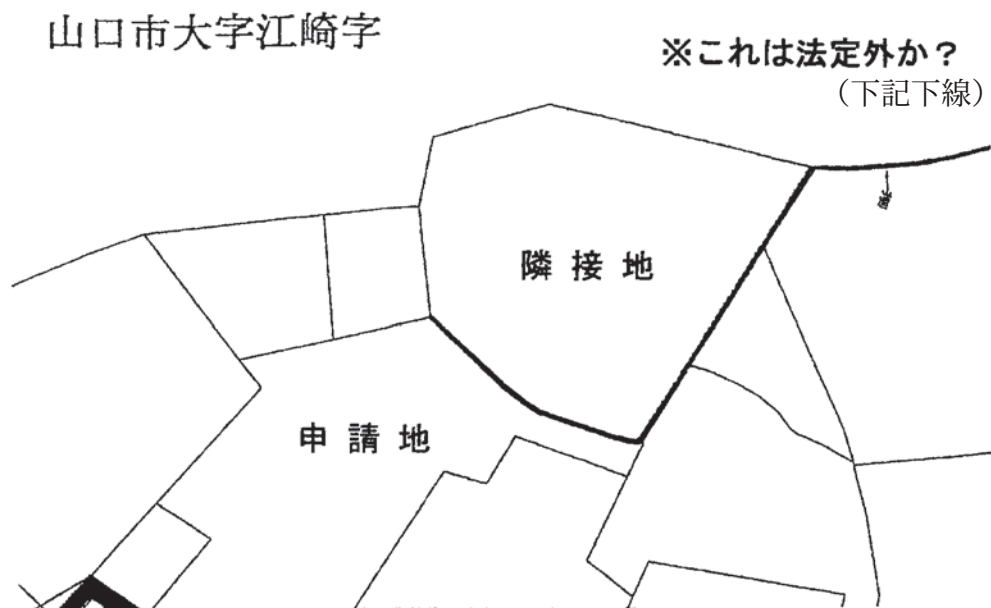
平成22年度第3回 山口支部研修会の報告

山口支部企画委員 石川 慎

平成23年3月18日 15:00~17:00

(講師 和田会員・渡邊会員)

- ① (下記図面の赤線部分は「法定外公共物」となるか…?) について、協議をした。
(法定外公共物の場合の境界確認書の取り扱い)
(4月20日に山口市と協議をするとの事)



- ② オンライン申請について質疑応答。
(連件申請について)
(合筆登記申請の識別情報の添付方法について)
(添付書類をPDFで送付する場合の問題点等)
(登記申出書の提出について)



(出席会員16名)

平成22年度第1回宇部支部研修会の報告

宇部支部企画委員 大窪圭子

日時：平成23年1月28日（金）
午後3時～午後5時

場所：宇部地方合同庁舎

内容：93条不動産調査報告書の作成について

講師 町田圭司 表示登記専門官
オンライン申請新システムの説明

講師 田中博幸 登記官
柏 葉子 登記調査官

今回法務局からの要請により、93条不動産調査報告書について、記載方法、注意事項等の研修となりました。

各会員、ベストの調査報告書であられると

思われますが、記載方法は様々のようで、どのような記載の仕方が良いかとのことでした。

例えば、「面談により確認」を具体的にどの指摘等でした。

オンライン申請新システムについては、システムが簡素化され、新しく使いやすくなったことを説明され、特に注意すべきところを上げていただいたのが参考になりました。

「登記ねっこのこのページからスタート」とか、私を含めなかなか馴染めない会員にとっては、オンライン新システムにかかわりやすくなりました。

講師の皆様、有難うございました。



平成22年度第1回下関支部研修会の報告

下関支部企画委員 山崎義文

平成22年11月16日（火）午後6時から午後8時まで下関市勤労福祉会館において平成22年度第1回下関支部研修会を開催し、参加者は会員29名、補助者3名の計32名でした。

研修内容は、「土地家屋調査士として知っておきたい税務知識」と題しまして税理士の石光孝英先生から税務に関する知識のご教示をいただきました。

始めに『土地建物の税務総合ガイドブック』という資料を用いて、住宅ローン控除、住宅の譲渡に係る特別控除、土地建物等の譲渡所得にまつわる税金、相続時精算課税制度その他の項目から、調査士業務で関わりのある箇所の要点や注意点の解説をされました。そして次に石光先生が用意されました研修資料を基に、親名義の住宅に子供が増築を行った場合の贈与税の課税関係及び、平成22年分、平成23年分の住宅取得資金の贈与税の非課税等について解説されました。

親名義の住宅に子供が増築を行った場合の贈与税の課税関係については、父名義の家屋に、その子が1,000万円の費用をかけて増築をした場合贈与税が課税されないようにするためには、当該家屋の名義を父と子がそれぞれ2分の1の持分の共有にすれば、増築前の家屋の価格の2分の1の価格が500万円である限り、旧家屋の持分の譲渡と、増築資金の負担とが相殺され、その場合の贈与税は生じないことになるなど、実際には個別事案ごとに多種多様な細かな条件によりますが、節税についての話をされました。

平日の夕方からの僅かな時間の中での研修でしたが、調査士業務及び司法書士業務その他一般生活での税務知識としていかに無駄なく節税をすることができるか、この不景気な時代、より一層の税務に関する応用力をこの研修会を機にみなさまの知識として活かされたいと思う有意義な研修会でありました。



表示登記の日「無料相談会」報告

「表示登記の日」無料相談会 開催場所・件数

日時	場所	相談件数
4月1日（金） 9：00～15：00	山口地方法務局岩国支局 岩国市錦見1丁目16－35	1
4月1日（金） 9：00～15：00	柳井市文化福祉会館 柳井市柳井3718番地	2
4月1日（金） 10：00～15：00	山口地方法務局周南支局 3階会議室 周南市周陽二丁目8－33	9
4月2日（土） 9：30～15：30	サンライフ防府 2階 防府市八王子二丁目8番9号（ゆめタウン防府前）	6
4月1日（金） 9：00～15：00	山口県土地家屋調査士会館 玄関ロビー 山口市惣太夫町2番2号	5
4月1日（金） 9：30～15：30	山口地方法務局萩支局 地下1階 萩市平安古町599－3（萩地方合同庁舎）	5
4月1日（金） 9：30～15：30	長門市中央公民館 会議室2 長門市東深川1326－6	1
4月1日（金） 10：00～15：00	山口地方法務局宇部支局 5階会議室 宇部市新町10－33（宇部地方合同庁舎）	2
4月1日（金） 9：00～15：00	下関市役所 1階ロビー 下関市南部町1番1号	3
合計		34

「表示登記の日」 無料相談会報告

岩国副支部長 井上哲也

日 時：平成23年4月1日（金）
午前9時～午後3時
場 所：山口地方法務局 岩国支局
相談者数：1名
相談内容：土地地目変更について 1件

今回は、山口地方法務局 岩国支局にて表示登記の日 無料相談会を開催しました。

岩国支部では毎月第3水曜日に岩国市役所

にて無料相談会を開催しているせいか相談者は1名でした。

相談件数は少ないですが、相談に来られた方は大変満足されたのではないかと思います。土地の境界問題や分筆登記については、不動産業者に相談されることが多いのが現状であり土地家屋調査士の知名度アップのために今後も地道に活動をしてゆくことが我々の使命であると再確認しました。



「表示登記の日」 無料相談の報告

岩国支部長 藤本幸彦

平成23年4月1日、柳井市文化福祉会館で行ったが、午前中2名の相談者があったが、午後は一人の相談者もなかった。天気も良かったが、東日本大震災の影響もあったのではないと思われる。ただ、例年なら権利に関する相談が数件あるが、今回の相談者2名は

建物の表示に関する相談であった。1名の方は、老朽化した住宅を解体する場合の手続きについての相談であり、もう1名の方は新築する場合の手続きについての相談であった。相談者2名の方は一応満足して帰られたと思われる。



「表示登記の日」 無料相談会の報告

周南支部企画委員 大下竜司

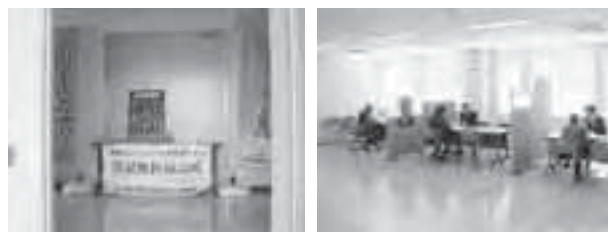
日 時 平成23年4月1日（金曜日）
10：00～15：00
場 所 山口地方法務局 周南支局
《3階会議室》
相談者 9組

午前中を中心に9組の相談者が来られました。最初の相談者は9：30には来られており、午前中は相談者が絶えることはありませんでした、用意した席が足りずロビーで相談を聞かなければならない時もありました。

相談内容は、土地の境界についての相談が

多かったですが、相続についてなど業務外の相談も多く、相談会の内容をもう少し詳しく告知したほうがいいと感じました。

今回も前回と同じく新聞折込紙に広告を載せましたが、7組が市の広報を見て来られ、2組は法務局に来て相談会が開催されていたので来られたとのことでした。



『表示登記の日』 相談会について

防府支部長 阿部次男

防府支部では、4月2日（土曜日）9時30分～15時30分までサンライフ防府において開催いたしました。

今年は6組の来客があり、例年と同程度でした。

相談の内容については下記のとおりです。

記

[相談内容]

- ① 隣地所有者の構造物が越境しているが、どのようにしたらいいか。
- ② 三人共有で所有しているが、その共有者の一人が死亡した。
今後の対応について
- ③ 本人所有地と隣地所有地の地番が入れ替

わっている。

どうしたらいいか。

- ④ 隣地所有者が地籍調査終了後、筆界が違うと主張してきた。
- ⑤ 介護施設、デイサービスの会社を設立するにはどのような点に注意すればいいか。
- ⑥ 相続で親族間で対立していることに対する今後の対応



表示登記の日 無料相談会

山口支部 支部長 藤原淑雄

平成23年4月1日（金） 9：00～15：00

会場：山口県土地家屋調査士会館

山口市報及びタウン情報誌に無料相談会の告知広告を掲載しての当日、午前中は3組、午後2組の計5組の相談を受けた。

今回の特徴としては、例年のような権利関係の相談はあまり見られず、表示登記に関する質問や土地の境界に関するような、調査士業務に関連のある相談が多かったように思う。

これは調査士の業務内容がある程度世間に浸透してきたということなのだろうか。



表示登記の日「無料相談会」の開催について

萩支部理事 片山修一郎

鉛色の雲が天を覆う冬を越え、空に桜の花がパッと咲き、春の息吹に包まれて爽やかな気分で迎えた4月1日。

相談会は今回も相談者0人かなと思いきや、なんと萩会場で5人、長門会場で1人の相談者がありました。調査士のフィールドである表示に関する登記についての相談はありませんでしたが、市民諸氏と交流することが出来ました。相談会開催の日時を予め市報に

掲載するという試みは今回において成功だったと思います。

東北関東大震災及び津波被害の影響で、境界をめぐる相談の潜在的な希望者が増加傾向にあるとみられる昨今、調査士開催の無料相談会が市民にとってより身近な機会となるよう来年も開催の告知を徹底すべきであると考えます。



（萩会場）



（長門会場）

平成23年度表示登記の日無料相談会の報告

宇部支部理事 松村幸雄

日 時：平成23年4月1日（金）
午前10時～午後3時
場 所：合同庁舎5階会議室
相談員：午前3名、午後3名
相談者：2名

今回の相談は、午前1名、午後1名の合計2名であり、相談内容は土地に関するものであった。1件は「合筆ができるかどうか」、もう1件は「境界について」であった。相談件数は年々減少しつつある。原因としては、土地建物の売買等が減少傾向にあるためではないだろうか。その結果、境界等の問題も起らないからだとおもわれる。相談の回答に対しては、満足・納得だったとあり、よい効果

果はあったとおもわれる。

登記相談があることを知った媒体の1件は市の広報であった。今回、無料相談は当初フジグランを予定していたが、フジグランの会場がイベントで使用できないため、合同庁舎になった。相談件数が少なかったのは相談場所の問題もあったのかもしれない。土地家屋調査士の宣伝のためにも相談者が多くなることを願ってやまない。



無料相談会報告

下関支部理事 米原太一

日 時：平成23年4月1日（金）
場 所：下関市役所 1階ロビー
相談員：午前3名、午後3名
相談者：午前2名、午後1名

毎年恒例の「表示登記の日」無料相談会を行いました。

下関支部では、一昨年からの4月の無料相談会も含め1年に4回、すなわち3ヶ月に1回のペースで無料相談会を実施しています。その効果からか、今回は、市報に掲載していないにもかかわらず、3名の相談者が来られました。

相談内容としては、土地の表示関係について1件、表示関係以外で2件でした。

今回の相談は、土地家屋調査士としての知識はもちろんのこと司法書士や税理士の方の知識を問われる相談もあり、他機関を紹介しましたが、そういった周辺分野の基礎知識

も身につけておかななくてはならないと、つくづく実感しました。

また、毎回思うのですが、来場される方はご年配の方ばかりのような気がします。自分が不動産を所有していないとやはり関心を持つことは少ないかもしれませんが、もっと若い方にも関心を持ってもらえるように下関支部として「土地家屋調査士」という仕事をPRすることに努めていきたいと思っています。

以上をもって無料相談会の報告とさせていただきます。



中国ブロック新人研修会

平成22年度中国ブロック新人研修会報告

広報部長 高松孝一

平成22年度中国ブロックの新人研修会が山口会の引き受けでJR徳山駅3階の『周南市民交流センター』と『周南緑地公園』（測量実習）を研修会場として3月11日（金）から13日（日）の3日間で行われました。

参加者は山口会の5名をはじめとして広島会9名・岡山会4名・島根会1名の計19名です。残念ながら鳥取会からの参加者はありませんでした。

1日目に西本聡山口会会長を講師とする『土地家屋調査士の業務・会員心得・事務所



経営』やその他『倫理規定』等を主に一般的事項に係る研修と山口支部山耕右会員（山口会参与）を講師とする『旧土地台帳・公図の見方』に関する研修が行われました。夜には懇親会も開かれ親睦を深めました。2日目には周南支部会員にお世話いただいた外業実習を含む測量研修、3日目には山口支部渡邊英雅会員（山口会オンライン登記申請促進委員長）を講師とするオンライン申請に係る研修や調査測量実施要領等主に実務に係る事項を中心とした研修が行われました。

1日目が東日本大震災の起きた歴史的な日となり、参加者にはより強く記憶に残る研修会になったことと思われます。研修会で学んだ事や多くの出会いを今後の業務に生かしていただけるものと期待しています。最期になりましたが、各講師の先生方と測量実習の会場設定等色々とお世話いただいた戸倉副会長、富永支部長をはじめ周南支部の皆様にお礼申し上げます。

中国ブロック新人研修会に参加して

萩支部 横山好信

今回、新人研修が山口県で開催されるので未受講者はぜひ参加をということで参加させてもらいました。

調査士会に入会したのは、法務局在職中に当時の国有里道・水路との境界確定訴訟等に国の指定代理人として関与し、法定外公共物や地図作成の歴史等について勉強した経験を活かしてみたかったことと、昭和53年に苦労して取得した調査士資格を一度は使ってみたかったことが心の隅にあったからでした。

平成20年に竹内事務所でお世話になり、山林部へのコンクリート杭の埋設で昼食が喉をとらなかったことや、昨年には炎天下の中、萩市内の14条地図作成に関与させていただいたこと等々から、調査士として一通りの経験もでき、そろそろ退会を考えていた時の研修への参加でした。

しかし、講師の方々の熱い講義をうけ、もうしばらくは調査士業を続けたいと思ったところです。

士業という個人事業主としての性格から、考えが偏り、独善的になりがちになること等からして、今回の研修は、力不足の課題等、勉強するヒントを与えてくれたものでした。

自己研鑽、研修受講は、調査士としての義務でもあるので、その意欲が薄れたときに退会の時期だと思いました。

研修初日は、東日本大震災が起きた日で、講義中にも話題となり、ザワザワしていましたが、私にとっては、調査士業の再スタートともいえる日でもあり、一生忘れぬ日となると思います。

お世話いただいた西本会長、板垣総務部長ほか関係者の方々、ありがとうございました。

中国ブロック新人研修会に参加して

萩支部 古江直樹

3月11日（金）から13日（日）までの3日間の日程で周南市にて開催された中国ブロック新人研修会に参加させて頂きました。

この3日間という限られた日程の中での研修において、自分を見直す良い研修であったと思います。

私は土地家屋調査士事務所にて補助者として13年間勤務しておりました。研修内容は補助者として業務に携わってきた事がほとんどでしたが、講師の先生方の経験談は貴重な内容でありました。

1日目の懇親会では諸先輩方からの様々なお話をお聞きし、2日目は研修会終了後に研修生で集まり交流を深められることもでき、3日間を通じて、とても有意義な時間を過ご

す事ができました。

今回の研修により土地家屋調査士としての職責を果たしていかなければならないと痛感しております。日々努力を怠る事なく、初心を忘れる事なく、一歩ずつ前へ進んでいこうと思います。

お世話いただいた各会の役員の先生方、講師の先生方、引き受け会の山口会の役員の方々に深く感謝いたします。

最後になりましたが、東北地方太平洋沖地震で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共にご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。また、被害にあわれた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

中国ブロック新人研修会に参加して

宇部支部 河合佑一

3月11日から13日までの3日間、徳山駅ビル内の市民交流センターで開催された研修会に参加させていただきました。

この研修会は新人研修ということですが、何しろ私の合格した試験は、30年以上も前で、合格証もカビが生えている状況にあり、したがって、年齢も他の研修員の倍以上で、新人研修には不似合いな私でした。

受講した講義の中では、測量外業、内業については、他の研修員が測量機器やパソコンをテキパキと扱う中、殆ど経験のない私にとっては苦痛な面もありました。

とはいえ、受講した研修内容を少しでも多く身につけて、今後の調査士業務に活かしていきたいと考えております。講師や役員の皆様方には大変お世話になり有難うございました。

折しも、研修の初日の午後、東北で大地震が発生したとの情報を研修員から聞きました。

地震の被害状況については、研修の3日間はテレビで少しは知ることが出来ましたが、

後日のように大被害が発生するは思ってはいませんでした。

その後、大津波で町そのものが消失し、多くの人の命が失われ、家屋等あらゆる財産を失った人が多くおられます。加えて、原発の被害も終息に見通しが立たない状況にあります。

この未曾有の危機に際して、我々調査士として何ができるかということになれば、現時点では義援金に協力することしかないのかなと思っております。

4月6日の朝日新聞では、津波で流失した建物の滅失登記等を法務局が職権で進め、調査士会が法務局から委託を受けて進めるとありました。

今後、復興に向けて調査士の関わる業務も多くなると思われます。我々山口県の調査士は、直接被災地の調査士業務に関わることは出来ませんが、現地の調査士が被災者の身になって復興の手助けをされるよう、同じ調査士として心から願っています。

中国ブロック新人研修会に参加して

下関支部 山田篤志

3月11日から13日の3日間、山口県周南市において平成22年度中国ブロック新人研修会が開催されました。私は平成21年試験合格ですが、今年度入会したこともあり参加させていただきました。今回は山口会が主催でしたので、さほど緊張することなく研修に臨めました。

3日間の短い時間でしたが、改めて気持ちを引き締め、やる気を湧き起こしてくれるには十分でした。一番後ろの席で受講しておりましたが、懇親会等で寝不足の方が多い中、一人も（恐らく）居眠りされることはありませんでした。

どの講義も興味深いものばかりで、私としては、特に土地家屋調査士倫理規程、報酬の考え方、土地家屋調査士の民事責任について大変勉強になりました。また、他会の方々やこれから登録される方々との意見交換は貴重な経験となり、今回得られたものはこれからの実務に役立つと感じました。

この度の新人研修会に際し、講師の先生方をはじめスムーズな運営をいただいた山口会の皆様、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

中国ブロック新人研修に参加して

下関支部 半野義隆

3月11日から13日の2泊3日の日程で、周南市で開催された中国ブロック新人研修に参加してきました。3月11日は東北では震災があり大変な状況でしたが出来る限り集中して研修に臨みました。

3日間という限られた日程で、内容は幅が広く講師の先生方の体験談も盛り込まれた内容の講義であり、もう少し深く掘り下げて学びたい部分もありましたが大変有意義なものでした。受講者の方々も年齢の幅も広く、経験豊富な方もおられ日中の講義時や夜間の懇親会等ではいろいろお世話になり大変勉強に

なりました。

景気低迷が長期化し、震災の影響で建設業界等にも影響が出始めていて、土地家屋調査士としても困難な状況が続きますが、この度の研修を通じて学んだこと及び受講者間の交流等を活かして日々の業務に取り組みたいと思います。

最後になりましたが新人研修開催にあたり、お忙しい中ご尽力頂きました各会役員の先生方、講師の先生方及び関係者の皆様方、大変お世話になりました。ありがとうございました。

山口県青年土地家屋調査士会の活動

「青調会 震災支援活動」の報告

山口県青年土地家屋調査士会副会長 大來博康

この度の大震災でお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された全ての皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災の被災地への支援活動として、山口県青年土地家屋調査士会（以下山口青調会）も微力ながら尽力いたしました。山口青調会発足後1年も満たない時期でしたが、多数の会員の賛同、協力のもと多くの募金ならびに支援ができた事に対し、この場をお借りして感謝申し上げますとともに、当活動内容の報告をいたします。

震災発生直後より、全国の若手調査士を中心とした間で情報の共有に利用されているメーリングリスト[※]を通じ、各地の被害状況や支援体制など様々な情報が飛び込んでまいりました。

連日のニュース報道で被害状況が明らかになりつつある3月14日、清水山口青調会会長のもとへ他会青調会を始め他会会員有志より、支援物資の調達ならびに運搬協力の打診を受けた事を起点に、日頃から利用している山口青調会メーリングリスト[※]にて、会員の皆様へ支援協力を仰ぎました。

3月15日、被災地で一番の悩みとされていたガソリン不足。支援活動はもとより、安否確認すらままならない状況が伝えられ、また、都市部における買い占め等の問題もあり、ガソリン携行缶の調達が急務とされました。その日のうちに依頼のあったガソリン携行缶

（計17個）を調達して、同じ日に山口青調会会員の皆様へ募金の通知も行いました。

翌3月16日20時、九州ブロック青調会有志（鹿児島、熊本、長崎、福岡）から受け取った支援物資を、用意した2台トラックに載せ替え、めかりパーキングエリアから一路、清水会長の運転、下関支部 山崎会員の同乗にて、岡山会倉敷青年部の待つ福山サービスエリアに向かいました。年度末の業務多忙の中、夜を徹しての運転、物資引き渡しへの熱意には、只々、頭が下がる思いですが、「九州、山口からの気持ちを是が非でも途切れることなく東へ受け渡す」という強い思いがそうさせているのだと感じずにいられませんでした。日付けの変わった頃、物資は無事岡山会へと引き継がれ、その後、兵庫会、滋賀会へと渡り、3月18日に搬送拠点となっていた新潟会へ到着いたしました。

募金については、本会からも義援金募集の案内が発せられたこともあり、青調会での募集は3日間で打ち切りましたが、短期間のうちに14名による計22万4千円もの多額の募金を集めることができました。

第一便が新潟へ到着するころ、被災地では被害状況やその支援状況に応じて日々必要とされる物資のニーズが変わるため、それらに対応する第二便の輸送計画が持ち上がり、今度は食料品を中心とした支援物資の調達を行いました。山口青調会会員の厚意により、お米、レトルト食品、カップラーメンや粉ミルク

クなどをご提供いただきました。なお、この募金活動や物資提供には本会事務局職員からのご厚志も含まれていることに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

3月22日、前回同様めかりパーキングエリアに於いて、九州各地から集められた物資を福岡青調会の皆様から引き継ぎました。物資は、山口青調会のものと合わせて2トトラックいっぱいになるほどの量で、“何ができるか”と考えるだけでなく、“何かできること”とすぐに行動に移せる熱い心を感じました。被災地では一部ライフラインの復旧や自治体での支援体制の確立もあり、「緊急支援」から長期間にわたる「復興支援」への切り替えと判断して、この度の物資は民間輸送を利用し、関西地域を中継拠点とする他会青調会と連携した支援活動に寄与いたしました。

今回の大震災の被害の甚大さから、今後と

も継続した支援活動が必要であり、山口青調会に出来ることを模索しつつ、本会ならびに県外の青調会との協力体制をとりながら、活動していく所存であり、それができる組織でありたいと願ってやみません。

※メーリングリストとは電子メールを用いて複数の人と同時にコミュニケーションがとれるシステムのことで、略してMLとも呼ばれる。通常メールを送る時は相手のメールアドレスに送信するが、MLでは、設定された代表アドレスに送信すると、参加者全員に送信される。よってこのシステムを用いて一人がある情報を発信すれば、その情報は参加者全員で共有できることになる。

「山口青調会主催ボウリング大会及び忘年会」の報告

山口県青年土地家屋調査士会副会長 八田 廣

ボウリング大会

開催日時 : 平成22年12月11日(土)
午後4時30分
開催場所 : 下関ロイヤルボウル
参加者数 : 12名

忘年会

開催日時 : 平成22年12月11日(土)
午後6時00分
開催場所 : 旬鮮台所Zen下関店
参加者数 : 11名

上記日程にて記念すべき第1回山口青調会主催のボウリング大会及び、忘年会を開催しました。会場が下関ということもあり、下関市以外の参加者が少なくもありましたが、計

2ゲームの楽しいひと時を過ごすことができました。成績の方は、激しい首位争いの末、本領を発揮した清水会長が優勝を手にし、準優勝は大來副会長となりました。その後、場所を移して忘年会が始まり、ゲーム内容の反省と共に、次回開催場所の検討や、遠方からの参加者を増やすための知恵を絞ったりと、青調会の今後の運営方針や、日頃の業務の手法についても夜遅くまで語り合い、下関の夜を満喫しました。

本年も第2回大会の開催に限らず、様々なレクリエーションを催し、さらなる会員間の親睦を深めたいと考えておりますので、多数の会員が参加されることを期待しております。



「岡山青調会との交流会」の報告

山口県青年土地家屋調査士会会計幹事 宮崎敏幸

開催日時：平成23年3月5日（土）

午後2時～午後5時

開催場所：岩国市福祉会館

参加人数：山口青調会 9名

岡山青調会 10名 計19名

現在、岡山会では今年の夏に青調会の設立を目指し準備を進めておられ、是非とも山口青調会との交流・情報交換をさせていただきたいとの熱い要望を受け、岩国市において上記交流会を開催いたしました。

岡山青調会の役員候補の方を中心に岡山支部・倉敷支部より10名が参加され、午後2時より「青調会設立の意義」「行事への参加」「予算の使い方」「10年後の調査士」を議題として、4～5名のグループで各班自由に意見交換をしてもらうという形式で討議を行いました。各班とも非常に活発な議論が交わされた模様で、予定の3時間もあっという間という印象でした。

議論が盛り上がっていたため、残念ながら各班での討議内容を取りまとめて発表する時間はありませんでしたが、私のグループでは各県各支部における若手交流の現状、青調会運営の方法、調査士の将来像について等々、

自由に具体的に語り合うことができました。このような機会は普段の支部・本部研修会には無いもので、新鮮な経験が出来たと思います。テーマはどれも奥が深く、単純に結論の出ないものばかりでしたが、それゆえにかえって縛られずに自由に意見を交わせたのではないかと思います。

交流会終了後も引き続き懇親会・二次会と多数の方に参加していただき、酒食をともにし、語り合い、歌い、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

末筆になりましたが、当日の段取りをしていただいた岩国支部の井上先生と、遠路岡山県から参加していただいた方々に厚くお礼申し上げます。



事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	氏 名 (生年月日)	入 会 年月日	事 務 所	TEL	FAX
	半野 義隆 (S46.6.6)	H23.1.11	〒751-0839 下関市山の田北町4番教 3-334号	(083) 253-0511	(083) 253-0511
	古江 直樹 (S47.10.8)	H23.1.11	〒758-0041 萩市大字江向526番地4	(0838) 25-2683	(0838) 26-0824

2. 会員退会状況

支 部	地 区	氏 名	退会年月日	備 考
山 口	山 口	有井 幹夫	H22.12.13	退会
宇 部	宇 部	木村 哲俊	H23.2.21	廃業
下 関	下 関	溝口 保二	H23.2.28	廃業
下 関	下 関	義満 一	H23.2.28	退会
岩 国	岩 国	植野 勝昭	H23.4.30	廃業

3. 事務所変更

支部	氏 名	変 更 年月日	変 更 後		
			事 務 所	TEL	FAX
岩国	長井 龍夫	H23.1.20	〒742-2806 大島郡大字西安下庄448番地7	—	—
防府	友景 稔	H22.12.24	〒747-0809 防府市寿町7番39号	(0835) 38-4363	(0835) 24-4363
下関	沖田 信治	H23.3.27	〒752-0915 下関市王司本町五丁目1番26号	(083) 248-1588	(083) 248-3833
下関	米原 太一	H23.1.20	〒750-0017 下関市細江新町3番45号	(083) 232-3031	(083) 232-2162
下関	山田 孝和	H23.4.1	〒752-0959 下関市長府金屋町2番14号	(083) 245-7700	(083) 245-7701

4. 土地家屋調査士法人登録事項変更

法人の名称	変 更 年月日	変更事項	変 更 内 容
土地家屋調査士法人ネクスト	H23.1.20	社員の脱退	米原 太一
土地家屋調査士法人ネクスト	H23.4.1	社員の脱退	山田 孝和

5. TEL・FAX等変更

支部	氏名	変更事項	変更後
岩国	河近 卓美	メールアドレス	new.kawatec@r5.dion.ne.jp
岩国	藤井 充弘	メールアドレス	fujitochikaoku@bloom.ocn.ne.jp
山口	三刀屋康之	TEL・FAX	0835-56-0229



会務報告

開催日	会 務	場 所
11月1日(月)	筆界特定制度と土地家屋調査士会ADRとの連携についての協議会	山口地方法務局
	第5回境界問題相談センター運営委員会	調査士会館
11月2日(火)	中国ブロック役員会議	岡 山 市
11月4日(木)	会報編集会議	調査士会館
	第3回総務部会	調査士会館
11月5日(金)	第6回境界問題相談センター運営委員会	調査士会館
	第1回境界問題相談センターやまぐち研修会	山 口 市
11月9日(火)	第2回筆界研究委員会	調査士会館
	「山口県土地制度・地図の沿革」についての協議	調査士会館
11月10日(水)	山口法律関連土業ネットワーク一斉共同相談会打合	山 口 市
11月11日(木)	山口法律関連土業ネットワーク一斉共同相談会	山 口 市
11月15日(月)	会報編集会議	調査士会館
11月18日(木)	第3回常任理事会	調査士会館
	第3回筆界研究委員会	調査士会館
11月20日(土)	第2回本部研修会	山 口 市
11月23日(火)	山口県宅地建物取引業協会創立五十周年記念式典	宇 部 市
11月24日(水)	登記事務の所管・権限等の見直し論議への対応に伴う協議会	山 口 市
11月25日(木)	第2回記念誌編集委員会	調査士会館
11月27日(土)	島根会60周年記念式典及びセンター開設記念式典	松 江 市
11月30日(火)	第3回理事会	調査士会館
12月1日(水)	第7回境界問題相談センター運営委員会	調査士会館
12月9日(木)	山口県議会議長への請願	山 口 市
12月15日(水)	平成22年度土地家屋調査士試験合格証書伝達式	山口地方法務局
12月17日(金)	正副会長会議	調査士会館
	綱紀委員会	調査士会館
	土業ネットワーク理事会	調査士会館
1月5日(水)	正副会長会議	調査士会館
	新年挨拶	山口地方法務局
	第4回常任理事会	調査士会館
1月11日(火)	役員推薦委員会	調査士会館
	第5回業務部会	調査士会館
	社会保険労務士会賀詞交換会	山 口 市
1月13・14日(木・金)	全国会長会議	東 京 都
1月13日(木)	新春交礼会	東 京 都
1月17日(月)	登録証交付式	調査士会館
	第3回記念誌編集委員会	調査士会館

開催日	会 務	場 所
1月19日(水)	筆界特定制度と土地家屋調査士会ADRとの連携についての協議会	山口地方法務局
1月19日(水)	第8回境界問題相談センター運営委員会	調査士会館
1月21日(金)	綱紀委員による調査	宇 部 市
1月21日(金)	新年互礼会	調査士会館
	第4回理事会	調査士会館
	選挙管理委員会	調査士会館
1月28日(金)	法務局と登記部門と業務部との協議会	調査士会館
1月29・30日(土・日)	自主支部長会	長 門 市
2月1日(火)	支部企画委員と業務部との協議会	調査士会館
2月4日(金)	中国ブロック役員会議	広 島 市
2月10日(木)	第4回総務部会	調査士会館
2月11～13日(金～日)	ADR特別研修(基礎研修)	調査士会館
2月14日(月)～3月18日(金) の間	ADR特別研修(グループ研修)	調査士会館
2月16日(水)	注意勧告理事会	調査士会館
2月18日(金)	第9回境界問題相談センター運営委員会	調査士会館
2月23日(水)	会則第109条に基づく調査	調査士会館
2月23日(水)	第4回記念誌編集委員会	調査士会館
2月24日(木)	第2回境界問題相談センターやまぐち研修会	山 口 市
3月11～13日(金～日)	中国ブロック新人研修	周 南 市
3月23日(水)	第1回土地家屋調査士実態調査委員会	調査士会館
3月29日(火)	第5回記念誌編集委員会	調査士会館
3月30日(水)	正副会長会議	調査士会館
	法務局人事異動挨拶	調査士会館
4月1日(金)	表示登記の日無料相談会	県下8会場
4月2日(土)	表示登記の日無料相談会	防 府 会 場
4月4日(月)	業務部会	調査士会館
4月6日(水)	中国ブロック役員会議	岡 山 市
4月8日(金)	第2回役員推薦委員会	調査士会館
4月12日(火)	決算監査会	調査士会館
4月12日(火)	財務部会	調査士会館
4月15日(金)	常任理事会	調査士会館
4月21日(木)	理事会	調査士会館
4月22日(金)	会報編集会議	調査士会館
	山口支部総会	山 口 市
4月23日(土)	下関支部総会	下 関 市
4月25日(月)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	調査士会館
4月28日(木)	防府支部総会	防 府 市

東日本大震災に係る義援金の募集について

この度の東日本大震災は、観測史上世界最大の地震と大津波により東日本各地に甚大な被害を与えております。

会といたしましては、3月17日付け文書にて、仲間の支援並びに被災された方々の復興に寄与するため、義援金の募集のお願いをさせて頂きました。すでに多くの会員より、ご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

義援金は、会館ロビーに設置しております募金箱にお入れいただくか、下記口座への振込により募集しております。

なお、今後とも物的及び人的支援の要請が予想されますので、その際にもぜひご協力をいただくよう併せてお願いします。

振込先

山口銀行 山口支店

普通口座 口座番号 5017152

口座名義 山口県土地家屋調査士会

会 長 西 本 聡 士

(※申し訳ありませんが、振込手数料はご負担下さい。)



事務局備え付け図書のご案内



会では、事務局備え付けの図書を、会員の皆様に貸し出ししております。

最近、会にて購入した図書及び献本頂いた図書は下記のとおりです。

図書名	著者	発行所	発行日
筆界特定制度の運用に関する実態調査集計報告書		日本土地家屋調査士会連合会 社会事業部 筆界特定制度対応PT	
平成19～20年度 研究成果報告書		日本土地家屋調査士会連合会研究所	H21.3
土地家屋調査士法関係法令集		日本土地家屋調査士会連合会	
登記小六法 平成21年版	登記法令研究会 編集	桂林書院	H21.6.15
表示の登記のオンライン申請	熊本県土地家屋調査士会 オンライン申請研究会 編	熊本県土地家屋調査士会	H20.9
平成21年版山口県地価要覧	山口県不動産鑑定士協会 編	山口県不動産鑑定士協会	H21.10
土地家屋調査士の業務と制度 第2版	村田博史監修、日本土地家屋 調査士会連合会研究所 編	三省堂	H22.1.1
公共測量教程TS-GPSによる基準点測量	飯村友三郎、中根勝見、箱岩 栄一 共著	東洋書店	H22.3.20
調停者ハンドブック	レビン小林久子 著	信山社	H19.2.10
登記小六法 平成22年版	登記法令研究会	桂林書院	H22.4.1
筆界特定事例研究資料	日本土地家屋調査士会連合会	山口県土地家屋調査士会	H22.10
公共測量教程 測量計算	飯塚修功・大滝三夫・中根勝 見 共著	東洋書店	H22.9.21
表示に関する登記・土地家屋調査士関係 先例・判例・質疑応答要旨集		日本土地家屋調査士会連合会	H22.6
土地家屋調査士 実務便覧 ”2010年” 土地家屋調査士制度制定60周年 表示登記 制度創設50年		愛知県土地家屋調査士会	H22
三重県の地籍Ⅰ 三重県における公図の源泉		三重県土地家屋調査士会	H22
二宮金次郎マップ寄贈について		神奈川県土地家屋調査士会	H22
不動産境界入門（まんが付き）	西本孔明 編著、濱本真人 著	住宅新報社	H22.6.30
登記所が現地と登記に対応する地図を整う 灯を消さないで	西本孔明 著	日本加除出版	H21.5.30
土地家屋調査士制度制定 60周年記念誌		島根県土地家屋調査士会	H22
全訂 不動産表示登記入門	清水 湛 監修 新井 克美 著	(社) 民事法情報センター	H20.11.23
全訂 不動産登記入門	清水 湛 監修	(社) 民事法情報センター	H20.5.1
平成21～22年度 研究経過報告書	日本土地家屋調査士会連合会 研究所	日本土地家屋調査士会連合会 研究所	H23.2
高村正彦『真の国益を』	大下英治	徳間書店	H22.11.30
ふくおか 土地家屋調査士制度制定60周年 記念誌		福岡県土地家屋調査士会	H22
災害から学ぶ～防災文化と危機管理～	西村 亘（山口県副知事）	マルニ	H23.3.28
国会議員の仕事	林芳正、津村啓介	中公新書	H23.3.25
土地家屋調査士制度制定 60周年記念誌		日本土地家屋調査士会連合会	H23.3.31

上記のほか、民事月報（平成19年1月～平成22年3月号まで）、山口会本部研修会のDVD、先日放送されたテレビドラマ「愛と死の境界線 ～隣人との悲しき争い～」のDVDなどもございます。貸し出しを希望される方は、事務局までお願いします。

ご報告

森下事務局職員が、本年2月11日にめでたく挙式されました。
おめでとうございます！なお、職務上は引き続き旧姓を使用されます。

ひとこと



『ついに(?)、やっと(?)結婚いたしました。』

結婚に際しては先生方から、たくさんのお祝いや、あたたかいお言葉を頂き、とてもうれしかったです。ありがとうございました。
引き続き、事務局でお世話になりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。』

広報部より

編集後記

本号には3月11日に起こった東日本大震災への対応など、昨年発足した青年土地家屋調査士会の活動報告が掲載されています。会員数の減少そして高齢化をはじめとした今後の土地家屋調査士会には一抹の不安を感じざるを得ません。その中で同会の活動が頼もしく感じられるのは私だけではないと思います。若い力を発揮していただきたいと思います。

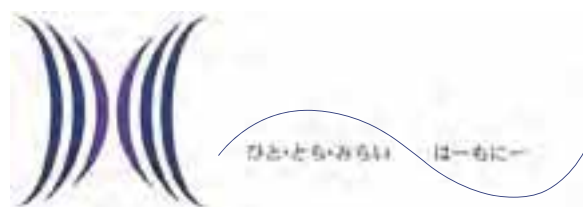
本号が会報の編集に携わる最後の会報となりました。この2年間に60周年記念誌の発行を初めこれまでになかった貴重な経験をさせていただきました。(高松)

広報部理事として2年間、「会報やまぐち」、60周年記念誌等の編集をお手伝いすることができ感謝しています。来期は新メンバーに期待して、「会報やまぐち」が会員から愛読されて、10年後の記念誌の会員名簿に私も元気な姿で掲載されるようもう少し頑張って自己研さんに励みたいと思います。(青木)

広報部理事として、2年間でありましたが、非常に長く感じられました。60周年記念誌の作製があったためでしょうか？東日本大震災は、記念誌に記載されませんでした。10年先の70周年の時には、深い印象となって思い出されることでしょう。(藤津)



発 行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電 話 (083) 922－5975
F A X (083) 925－8552
ホームページ <http://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net
振 替 01590－ 5 －11085
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 西本 聡士
広報担当副会長 戸倉 茂雄
広 報 部 長 高松 孝一
理 事 青木 正治
// 藤津 浩
印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net